

提出

No.1 産業革命

2 年__組__番 名前__

Q 産業革命が綿工業を中心としてイギリスで始まった理由は？

絹織物の需要が国内外で高く、植民地戦争に勝利した結果広大な海外市場を有しており、資本や労働力も確保していたから。

Q 綿工業における技術革新、交通機関の発達によって何がもたらされたか？

綿工業からはじまった技術革新が交通革命を促し、世界の一体化が進行した。

Q 産業革命によって成立した資本主義社会の特徴は何だろうか？

資本をもつ産業資本家が労働者を雇用して商品を生産し、利潤を追求する社会。

Q 19C 半ば、世界が一体化していく中でイギリスの地位はどのようなものになっただろう？

「世界の工場」の地位を獲得し、アジアやアフリカなどを経済的従属地域に組み込み、圧倒的な工業力を背景に「パクス=ブリタニカ」を実現した。

○世紀や年代の表記方法

- ・年代：イエス＝キリストが生まれたとされる年を紀元 1 年とする。
*紀元前 (B. C. =Before Christ)、紀元後 (A. D. =Anno Domini)
- ・世紀：100 年を単位として西暦を表す方法
→ 1 世紀は、1 年～100 年
→ 15 世紀は、1401 年～ 1500 年

1712	ニューコメン 実用的な蒸気機関を発明
33	(ジョン＝ケイ) 飛び杼を発明 →織布の速度が従来の 2 倍以上になる
64	(ハーグリーブス) ジェニー紡績機を発明…▲
69	アークライト (水力紡績機) を発明…▲
79	(ワット) 蒸気機関を改良 (クロンプトン) ミュール紡績機を発明…▲ ▲紡績技術の向上→大量に良質な糸を紡げるようになる
85	カートライト (力織機) を発明 →2 年後には蒸気機関を利用、大量の織布が可能になる
93	(ホイットニー) 綿繰り機を発明 →綿の繊維から実をとる機械、アメリカ南部の綿花栽培増大、イギリスに大量の原綿供給
1807	フルトン 蒸気船を実用化
14	スティーヴンソン 蒸気機関車を試作
30	リバプール・マンチェスター間に本格的な鉄道開通

○用語の確認（次回の予習）

- ・(自然法)：時代や地域を超えて通用する法。また、「人間が生まれながらにして持っている権利を保障する法」という考えにも発展した。
- ・(重商主義)：絶対王政時代に、官僚制と常備軍維持のために国家が積極的に経済活動に介入して行った経済政策。

